

図書館だより



NO. 226 2017年3月号
(2017年3月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1



ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

3月の企画展示

「開けてみるまで何が入っているか分からない本」

図書館入口から入って右の企画展示コーナーで、何の本か分からないように包んだ本を展示しています。中に入っている本は、職場体験に来た中学生と司書が選びました。(紹介文をつけているのでどんな本かヒントはあります!)

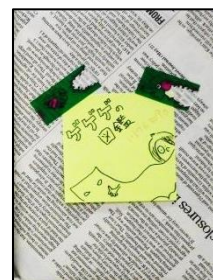
福袋ならぬ福本。何の本が入っているか分からないドキドキと一緒にぜひカウンターまでお持ちください。もしかしたら普段借りない掘り出し本もあるかも…?

※数に限りがあるため、お一人様2冊まででお願いいたします。

貸出できます!



プレゼントみたいに
包んでいます♪



今月の展示

《中央展示》

『小学生と友達になった本』

はつかいち市民図書館は毎年「ブックトークの会ピッピ」と協力し、市内の小学校4～6年生を対象にボランティア派遣事業を実施しています。これまでにブックトークで紹介した本を集めて展示しています。ブックトークとは…1つのテーマに沿って、一定時間内に数冊の本を複数の聞き手に順序よく紹介する読書案内の1つです。



《さくらびあ展示》

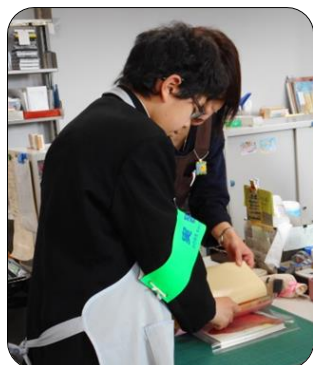
『江戸の暮らし』



3月19日(日)にさくらびあ大ホールで、原作者・磯田道史さんの講演と映画「殿、利息でござる!」の上演が行われます。当時の生活や暮らしを知って、映画の世界観をより深めてみませんか? 江戸の暮らしに関する資料を展示しています。

展示期間：2月24日(金)～3月22日(水)

廿日市中学校職場体験学習がありました！



↑資料にブックカバーを付けています

2月1日(水)～3日(金)と2月6日(月)・7日(火)の5日間、廿日市中学校の生徒4名が職場体験に来ました。

カウンター業務や配架(返却された本を棚に戻す仕事)、保存期限切れの雑誌の除籍作業、3月の企画展示の準備など、実際に図書館の仕事を体験しました。



↑本を返却しています



←本の修繕をしています



→展示の準備をしています



今月の企画展示は、生徒たちと一緒に司書が準備した「開けてみるまで何が入っているかわからない本」です。ぜひ一度展示コーナーへ足を運んでみてください。

*** 今月の新刊(一般書) ***

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『サイト別ネット中傷・炎上対応マニュアル』第2版 清水陽平／著 弘文堂 007.3/シ
- 『認知症予防におすすめ図書館利用術』結城俊也／著 日外アソシエーツ 紀伊國屋書店(発売) 015/1
- 『50歳から人生を楽しむ人がしていること』保坂隆／著 三笠書房 159.7/ホ
- 『安倍三代』青木理／著 朝日新聞出版 288.3/7
- 『中国山地過疎50年』中国新聞取材班／編 未来社 318.6/チ
- 『ブロックチェーン革命』野口悠紀雄／著 日本経済新聞出版社 338//
- 『土と内臓』デイビッド・モントゴメリー／著 アン・ビクレ／著 片岡夏実／訳 築地書館 465/モ
- 『あなたの血管を長持ちさせる6つの方法』池谷敏郎／著 技術評論社 493.2/イ
- 『暮らしの質が変わるリフォーム&リノベーションのヒント』主婦の友社／編 主婦の友社 527/ク
- 『有元葉子の「バーミキュラ」を囲む食卓』有元葉子／著 文化学園文化出版局 596/7
- 『サービス立国論』森川正之／著 日本経済新聞出版社 673.9/モ
- 『働く男』星野源／著 文藝春秋 B 772.1/ホ
- 『会話がはずむ雑談力』齋藤孝／著 ダイヤモンド社 809.2/サ
- 『人生の踏絵』遠藤周作／著 新潮社 914.6/エ
- 『テロリストの処方』久坂部羊／著 集英社 F/ク
- 『ついに、来た?』群ようこ／著 幻冬舎 F/ム



子育てとえほん ～渡辺茂男のことばより～



『しょうぼうじどうしゃじぶた』『エルマーのぼうけん』『どろんこハリー』など、今も子どもたちの心をつかんで離さない多くの創作・翻訳作品を残した渡辺茂男さん。没後10年に際して、渡辺さん自身の子育てと絵本との関わりから生まれた言葉の数々を紹介します。

(出典：『心に緑の種をまくー絵本のたのしみー』新潮社 B019.5/7)

子どもが初めて出会う絵本の一冊…甘ったるい「赤ちゃん絵本」を選ぶか、不滅の絵本を選ぶかは、親の心がけ次第です。

子育ての初めに欠かすことのできない絵本として渡辺さんは『おやすみなさいのほん』を紹介しています。「よるになります。なにもかも みな ねむります。」という静かなリズムの韻文で始まるこの絵本は、「ねむたい ことりたち。ねむたい さかなたち。ねむたい こどもたち。」と続いていき、体と心に安らぎを与えてくれます。『おやすみなさいのほん』マーガレット・ワイズ・ブラウン/ぶん いしいももこ/やく ジャン・シャロー/え 福音館書店 E/シ

子どもに本を読んであげるときは、ゆったりとした気分で読んであげてください。気分が何よりも大切です。

手にただけで、自然に親子がゆったりとした気分になることができる絵本として、渡辺さんは『おだんごばん』を紹介しています。ロシア民話のこの絵本は、家から逃げ出したおだんごばんが野原で出会った動物たちの間を歌ってころころ逃げていく、ゆかいでリズムのあるお話です。子どもと一緒に読む楽しさをたっぷり味わってみてください。

『おだんごばん』瀬田貞二/訳 脇田和/絵 福音館書店 E/ワ

一生忘れることのできない絵本との出会いがあるとすれば、『かばくん』は、まさにその一冊です。

渡辺さんはさらに「この出会いが実際の動物園での体験をどれほど心豊かなものにしてくれるかわかりません。」と続けています。絵本と子どもの実体験が結びつく喜びを親子で感じてみませんか。

『かばくん』岸田衿子/さく 中谷千代子/え 福音館書店 E/ナ



幼いお子さんに絵本を読んであげる最高の場所は、おかあさんのひざの上です。『まりーちゃんとひつじ』は、おかあさんのひざの上で読んであげるのに最高の絵本です。



この本は、まりーちゃんが、ひつじのばたぼんに子どもが生まれるとその毛で何を作ろうかと夢を語ると、それにばたぼんがやさしく答える、というあたたかいリズムのある絵本です。渡辺さんは、「クライマックスは、この絵本を読んだ母子が、愛情につつまれて、幸せを感じる最高のひとときです。」と書いています。

『まりーちゃんとひつじ』フランソワーズ/文・絵 与田準一/訳 岩波書店 908/イ

渡辺さんの本を集めたコーナーもあります。親子で楽しんでみませんか？



渡辺さんがすすめる子どもがいる限り読み継がれる「のりもの絵本」

『きかんしゃやえもん』
『しょうぼうじどうしゃじぶた』
『ちいさいじどうしゃ』

所蔵資料の総点検を行いました

2月17日（金）から23日（木）まで、館内にある資料のバーコードを1冊ずつ読み取って、コンピューターのデータと照らし合わせる作業を行いました。

また、児童書架の表示を見直して資料をより探しやすく改善したり、避難訓練を行って災害時の対応等について今一度確認しました。

利用者の皆さまにはご不便をおかけしましたが、ご協力ありがとうございました。

〈児童書架〉



この棚に置かれている絵本の
請求記号（Eフ〜モ）が分かり
やすくなりました。

絵本は画家名順に並んでいるので、
画家の頭文字（この場合「フ」）が分
かるようにしています。

〈避難訓練の様子〉

水を入れた消火器を使って火を消す
訓練を行いました。



3月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 ◎	4
5	6	7	8	9	10	11 ★
12	13	14	15	16	17 ◎	18 ◆
19	20	21	22	23 休館	24	25 ★
26	27	28	29	30	31	

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 10時30分～
2回目 11時～

※整理券をお渡ししています。
相談カウンターにお申し付けください。

★おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

◆ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児～大人

【時間】11時～

※場所はいずれも図書館会議室です。